

P8310793.JPG 2019/04/05

明治元年十月七日より明治元年十月十二日まで

P8310793right

七日戌 陰夕前より雨

大助を頼み君塚へ荷船の儀、荷物差立等の儀聞合に遣す、歙児招に依じて礫川へ行く、君塚不

在にて大助空敷帰る、渡辺伴家来世話人金次郎同道来り、抱屋敷観定金内式百両持来観定書為取替奥印有し受取手遣す、休左衛門へ永暇の手当として拾円を遣す

八日亥 陰

墨邸門番来る手当並給金遣す君塚喜来る、酒肴を勧む

九日子 陰

太郎儀御船にて出立の儀、病に托して□書面日根野へ為持遣す、山下金来り上総東金茂、右衛門身元承合す、聞合□遣し積り、山本長来り、姑誘われ妻儀堀の内へ来

P8310793left

詣す、山本長また来る荷造りの為め也

十日丑 陰

松盛□へ炭二苞贈り遣す、□野へ過日補として猶又炭三苞贈り遣す何れも墨邸門番を使とす

須崎村名主方へ休左衛門を遣し、此度抱屋敷讓渡の儀申入しむ、君塚へ大助を頼せし荷船の聞合しむ

十一日寅 陰午前震

礫川より姑並長来り荷造りす、蒸菓子柑子持来午餐を勧む、旧婢なか、はる妹母子一同来り産賀の意の赤飯並鶏卵十柑子一籠持来、半衿地遣す、抱屋敷讓渡届等の儀に付渡辺並小梅村役人へ休左衛門を打合に遣す

十二日卯 晴

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。